

評価検討会の評価結果に対する適正性確認結果

1 評価の対象とした指定管理者等

指定管理者名	管理運営する施設名	所管
軽井沢フード株式会社	少年自然の家八ヶ岳高原学園	教育推進部 学務課

2 評価結果

(1) 分野評価

評価分野	評価項目	評価検討会 評価結果	評価委員会 評価結果	評価委員会確認結果
サービス向上の有効性	① 区が求めた事業以外に、住民サービスの向上を図るための自主事業を積極的に計画し、実施しているか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。
	② 協定書、業務要求水準書等で区が求めた事業と事業計画書や企画提案書に沿った自主事業が適切に実施されたか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。 下草刈りの積極的な実施やブルーベリー一園の拡充など区が求めた水準を超える実績が認められる。
	③ 利用者懇談会や利用者アンケートにより、利用者の意見を収集し、適当な意見については、それを反映させた取組が行われたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	④ 区民や利用者への広報方法を工夫し、効果的な広報活動が行われたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑤ 利用者アンケート等の結果で、利用者から高い評価を得られているか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑥ 利用者からの苦情に対する対応と報告が適切に行われたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑦ 利用者数等の実績が、指定管理者制度導入以前よりも増加しているか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。 区民開放の利用者は、指定管理者制度導入以前に比べ微減（165人⇒151人）しているが、東日本大震災の影響を考慮すると止むを得ないものである。
	分野評価	B	B	
経費の効率性	⑧ 経費節減への具体的な取組を行い、その効果があったか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑨ 指定管理料の範囲内で効果的・効率的な予算執行が行われたか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑩ 収入を増加するための具体的な取組を行い、その効果があったか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	分野評価	A	A	
管理運営の適正性	⑪ 金銭の管理が適正に行われたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑫ サービスを低下させない適切な人員配置が行われたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑬ 職員の知識・技術向上を図るための研修等が適切に行われたか。	3	4	評価結果は「4」とする。 区が求めた水準を超える種類、回数の研修を実施しており、施設の適正な管理に取り組む真摯な姿勢が認められる。
	⑭ 利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切に施設の保守、修繕、清掃等が行われたか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑮ 備品台帳により、備品の管理が適切に行われたか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑯ 文京区個人情報保護条例の規定を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理のために必要な措置が講じられ、漏えい、滅失及びき損等の事故が起きていないか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑰ 文京区情報公開条例の趣旨に則り、情報の公開を行うための必要な措置が講じられ、請求または区から情報提供の求めがあった場合は適切に速やかな対応が行われたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	⑱ 事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制が適切であり、緊急事態が発生した場合は、その対応が適切であったか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。 危機管理委員会の設置など区が求める水準を超える危機管理体制がとられている。
	⑲ 省エネやごみの削減など環境に配慮した取組が積極的に行われたか。	4	4	評価検討会の評価結果は妥当である。 生ごみの堆肥化、使用済み割りばしのキャンプファイヤーへの使用など環境に配慮した様々な取組みが認められる。
	分野評価	B	B	

評価分野	評価項目	評価検討会 評価結果	評価委員会 評価結果	評価委員会確認結果
改業 善務 性の	㊸ 前回の評価（一次評価及び二次評価）を受けて、適切な改善が図られたか。	3	3	評価検討会の評価結果は妥当である。
	分野評価	C	C	

(2) 総合評価

	評価検討会	評価委員会
総合評価	B	B
得点	84/100	85/100
所見	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃のサービス、特に傷病者への対応は評価できる点である。 ・事故の未然防止や安全対策を適宜行い、児童・生徒が利用する施設として信頼できる。 ・食事提供面での改善がなされるとさらに良い。（一つの工夫として、バイキング方式の朝食提供など。） ・経費をあまりかけずに、木工作体験、ディスクゴルフなどの自主事業に結び付けている点は評価できる。とくに木工作体験は、出発日の午前中や雨天対策時などで多くの学校が利用し、道具の整備や安全指導等にも配慮があり好評を得ている。プロポーザル時に提案のあったバードウォッチングやブルーベリー収穫体験等も植物管理や施設保守等と合せて整備ができるものであり、自然体験学習として費用対効果が高いものとなるよう期待する。建物の老朽化や寒冷地の気候条件など、経費の節減にも制限があるなかで、省エネタイプの電球への切替や、暖房効率がよくなるように利用者のいない区画を遮断するなどの努力をしている。経費が激減するほどの効果は見込めないが、引き続き節電の意識向上を図られたい。 ・事業報告にあたっては、平成23年度に新たな取り組みをしたものだけでなく、指定管理以降に改善して、取り組みを継続している事業についても積極的に記載してもらいたい。 ・食事は栄養バランスや衛生面の配慮という安心・安全が前提であり、できて当たり前であるという基本はしっかりできていると評価している。この食事に関する課題については年々改善されているが、工夫された献立やおいしい味付け、適切な食事の量等の努力を、ていねいな聞き取りを行いすすめてもらうことを今後も望んでいる。 <p>【より良い施設運営のため、以下の点に留意されたい。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関しては、内容面、衛生管理面等で更なる改善が求められる。 ・食事への異物混入が発生しているので、作業工程を見直し、十分な注意を払って作業を行ってもらいたい。 ・学校をはじめ児童・生徒からは、施設管理者としてのノウハウが生かされ、十分な信頼関係が築かれてきている。今後は、児童・生徒が直接記入するアンケート等を活用し、迅速かつ的確な経営への反映に結び付けられたい。 	<p>(評価検討会の所見に加えて)</p> <p>食事への異物混入が1件発生していることから、食の安全に対する従業員の指導の徹底に努められたい。</p>
改善指摘事項	なし	なし